令和２年度

事　業　計　画

社会福祉法人順仁会

目　　　　　　次

Ⅰ　＜法　人＞

１、はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

２、事業目標の柱　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

３、令和２年度定例役員会開催予定　・・・・・・・・・・・・・・・・　　１

４、職員研修、職員会議　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

５、防災訓練計画　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２

Ⅱ　＜特別養護老人ホーム　ふじやまの里＞

　１、事業方針　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２

　２、各部門方針　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３

　３、年間行事計画　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４

　４、委員会活動　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４

　５、内部研修・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５

Ⅲ　＜ショートステイ　ふじやまの里＞

　１、事業方針　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５

　２、年間行事計画　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５

Ⅳ　＜デイサービスセンター　ふじやまの里＞

　１、事業方針　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６

　２、年間行事計画　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６

Ⅴ　＜居宅介護支援事業所　ふじやまの里＞

　１、事業方針　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６

Ⅵ　＜在宅介護支援センター＞

　１、事業方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７

Ⅶ　＜事業所内保育施設　ふじやま園＞

　１、事業方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７

Ⅷ　＜地域密着型施設　特別養護老人ホームふじやま荘＞

1. 事業方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8

Ⅸ　＜認知症対応デイサービスセンター　ふじやま荘＞

1. 事業方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８
2. 年間行事計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８

Ⅰ　＜法　人＞

１、はじめに

　　　平成２２年に高齢者介護事業に着手して１０年が経ちました。施設理念「仁、共生、安心」を職員一人ひとりに浸透させ、ふじやまの里・荘のご利用者の安定した日々の暮らしのお手伝いをさせて頂いています。

　　　今年度は事業所内保育施設「ふじやま園」が上三川町の認可保育事業として５月１日から開始することになり、福祉事業の幅が広がるとともに、地域住民からの要望に応えられる事業の展開を目指します。

　　　高齢者介護の担い手不足の解決策として外国人技能実習生制度の活用と、介護職員の業務負担軽減策として介護ロボットの導入やITの活用など、社会の動向を視野に入れながら社会福祉事業を推進していきます。

２、事業展開の柱

　　　（福）順仁会では様々な事業所や部門において、個々の事業を行なっていますが、令和２年度の事業展開の柱を以下のように定めます。

　　１）人事制度改革

　　　①介護職員業務負担対策・・介護ロボット導入と外国人技能実習生制度の活用

　　　②痰の吸引ができる介護職員の育成の継続

　　　③職場ハラスメントの防止対策としての研修の取り組み

　　２）情報の共有

　　　ふじやまの里と荘の利用者やご家族の思いを介護サービスに反映し実現できるように、各々の事業所の緊密な連携を図ります。

３）地域社会との連携

　地域社会に根付く拠点施設としての取り組みとして、ふじやま荘の施設利用を各自治会や育成会・老人クラブなどに働きかけを行い、福祉まつりや敬老会、文化祭などを通じて地域の皆様との交流を図ります。

３、令和２年度定例役員会開催予定

　　第１回　令和２年　５月中旬頃（評議員会及び理事会）

　　第２回　令和２年１１月中旬頃（評議員会及び理事会）

　　第３回　令和３年　３月下旬頃（評議員会及び理事会）

　臨時役員会が必要な場合は、別途開催致します。

４、職員研修・職員会議

　　法人運営の里・荘の合同職員会議を毎月開催し、実績報告や各事業所の取り組みなどの意見交換を行い、介護サービスの連携を図っていきます。管理者職員、中堅職員、新人職員などの自己啓発研修を行い、生きがいのある介護職場の実現に向けた意見交換を行っていきます。

５、防災訓練計画

　　近年の想像を超えるような災害にも対応できるように、毎月の防災訓練を継続します。緊急時には、地域住民の協力が得られるように良好な関係づくりを目指して、地域住民・近隣の方々への参加を呼びかけながら訓練を行います。

　４月 ３階避難・誘導訓練（夜間想定訓練含む）

　５月 総合訓練

　６月 普通救命訓練

　７月 ２階避難・誘導訓練（夜間想定訓練含む）

　８月 消火器訓練

　９月 応急処置（ＡＥＤ）

１０月 地震・煙道訓練

１１月 総合訓練

１２月 消火器訓練

１月 避難・誘導訓練（すずらん・ひまわり　夜間想定訓練含む）

２月 避難・誘導訓練（なのはな・たんぽぽ　夜間想定訓練含む）

３月 救助袋訓練

Ⅱ　＜特別養護老人ホーム　ふじやまの里＞

１、事業方針

入居者の生活の質の向上を目的に、自立支援介護や看取り介護の実践により「穏やかな暮らし」の提供と、ご家族の要望に応えられる介護の提供を、職員間の「報・連・相」を徹底して取り組んで参ります。

２、各部門方針

　　１）事務部

　　　①施設の窓口として、利用者ご家族やお客様に明るく正確な情報伝達を行っていきます。

②節約の意識付けを各事業所や各ユニットに促していき経費削減を図る。

③朝礼での情報発信や多職種連携を図っていきます。

２）介護・生活

①『自宅に近い環境の介護施設を』という目標のもと、入居者の尊厳ある生活を保障していくために、一人ひとりの個性と生活リズムを尊重した個別ケアを実現していけるよう、職員の知識・技能の習得・向上に努めるとともに、多職種での情報共有・連携を密にし、目標に近づけるよう個別の生活課題の把握と解決を図っていきます。

②尊厳ある生活とは「自己で決定する」「これまでの生活を続けていく」「残存機能を活かす」などが挙げられます。これらを踏まえたうえでの自立支援介護の推進ということを念頭に、引き続き食事・水分・排泄・運動の基本ケアを行い、心身の充実と生活の喜びが持てるよう支援していきます。

③昨年度同様、音楽療法・書道教室・もの作り作業レクリエーションやアロママッサージ・フットケアなど外部の専門の方々にご助力いただくとともに、昨年たいへんご好評いただけた出張販売イベントなども含め、新たな資源を模索しさらなる生活の質の向上を目指していきます。

　　３）看護部

①特別養護老人ホームでは「家庭での医療」が求められます。入居者一人ひとりの疾患を把握することはもちろん、生活歴や人生史を知り、入居者に寄り添い、医療には頼らない看護を提供出来るように努めます。

②入居者の健康管理に努め、異常の早期発見・早期対応が出来るようにします。

③終の住処としての特別養護老人ホームの役割は「看取り介護」に集約されます。

　入居者の人生史を把握しご家族と連携しながらそれぞれの個性に応じた「最期まで生き抜く」ケアを他職種がチームとなり提供します。また、ご家族と共にゆっくり過ごせる環境を整え、信頼関係の構築に努めます。

　　４）相談・援助体制

　　　①ユニット型特養の全室個室（プライバシーの確保、看取り時等の家族団らん）・個別ケア（少人数での家族的かかわり）のメリットをご説明し、当施設の環境を望まれる方にご入居していただけるように支援します。

　　　②特別養護老人ホームふじやま荘、併設のデイサービス、ショートステイと情報を共有し、在宅サービスから特養まで一連のながれとして安心してご利用頂けるように配慮します。

５）栄養部

①食中毒防止に努め、安全で安心な食事を提供できるよう取り組んでいきます。また、厨房従業員が各自健康管理に努めて、衛生管理を徹底していきます。

②年齢・性別・身体状況から算出された食事摂取基準を満たす献立を作成し、入居者の生活習慣病や低栄養等の予防・改善に努めます。

③入居者ひとりひとりの状態を把握し、課題を見つけ、他職種と情報を共有して栄養ケアマネジメントを実施していきます。

④行事食の立案・企画及び嗜好調査、聞き取りなどにより入居者の希望に合うように工夫し、食事を楽しむことができるように工夫します。

　６）個別機能訓練

　　①　個別性を重視し、日常生活動作をリハビリに繋げていけるプログラムを作成してユニット職員と連携をとりながら訓練に取り組み、日常生活が安全・安心に過ごせるよう支援します。

　　②　「出来ること」が継続し、さらに増えていくことで入居者の生活意欲が高まります。これが実現できるように生活リハビリやレクリエーションを提案・指導します。

３、年間行事計画

　　　入居者の日常の生活において、楽しみや生きがいを感じていただけるよう、様々な関わりをしていきます。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 |
| お花見（弁当） | 母の日（イベント食） | 父の日（イベント食） | 流しそうめん | 夏祭り | 敬老会（お祝い膳） |
| １０月 | １１月 | １２月 | １月 | ２月 | ３月 |
| サンマ焼き | そば打ち | クリスマス餅つき | おせちふじやま神社 | 節分ひな飾り | 握りずし |

４、委員会活動

１）虐待・身体拘束廃止委員会、事故防止委員会

２）苦情処理委員会　（随時）

３）給食委員会

４）感染症対策・褥瘡対策委員会

５）防災・安全衛生委員会

６）ユニットリーダー・介護力向上委員会

５、内部研修

　　１）採用時研修（施設理念・職員としてのマナーなど）

　　２）事故防止対策（採用時必須）

　　３）感染症・食中毒（採用時必須）

　　４）防災基礎訓練・防災総合訓練

　　５）褥瘡対策

　　６）身体拘束・虐待防止（採用時必須）

　　７）看取り介護関係

　　８）栄養マネジメント関係

　　９）認知症対策・ケア・予防

　　１０）介護技術（排泄・入浴・移動・食事介助）

　　１１）口腔ケア関係

　　１２）ユニットケア研修（２４時間シートなど）

　　１３）介護力向上勉強会

　　１４）職場のハラスメント研修

Ⅲ　＜ショートステイ　ふじやまの里＞

１、事業方針

①再度利用したいと思っていただけるよう、安心して過ごせる（泊まれる）環境（自宅と同じような環境、習慣）、楽しみのある環境（趣味、興味、普段やっていること）をつくっていきます。

②地域社会との結びつき（季節に合わせた余暇活動・外出企画・地域行事への参加）、施設入居者・職員・子どもたちとの結びつき（ふじやまの里特養・デイサービス・ふじやま園・ふじやま荘）を大切にします。

２、年間行事予定

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 |
| お花見☆ | ◎ | ◎ | 流しそうめん☆ | 夏祭り☆ | ◎ |
| １０月 | １１月 | １２月 | １月 | ２月 | ３月 |
| ◎ | 福祉まつり参加☆ | クリスマス会☆ | ◎ | ◎ | ◎ |

◎ご利用者様の希望や季節に合わせた企画をしていきます。

☆特養行事に合わせて参加していきます。

月に１回のおやつ作りを企画していきます。

Ⅳ　＜デイサービスセンター　ふじやまの里＞

事業方針

1. 御利用者の状態に合わせて過ごせる環境を整え、ふじやまの里らしくゆっくりと安心して過ごせるように援助します。
2. 希望するサービスを提供できるように、御利用者の方々と相談していき良好な関係を築きながら、通所計画書を作成して満足のいくサービスを提供します。
3. 季節に合わせた行事、外出等の計画の継続や、習慣的な体操や気分転換になるレクリエーションを充実させ、楽しみを提供していきます。
4. 法人内で各部署間との連携を密に行い、ふじやま園との交流他、レクリエーションやイベント等、御利用者が快適に過ごせるように協力体制を整えます。地域の他事業所との連携も図り、利用希望の相談、見学等の受付にも柔軟に対応します。

２、年間行事計画

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 |
| お花見 | 外出：バラ園 | 外出：あじさい | 七夕飾り流しそうめん（ｽｲｶ割） | 外出：ひまわり畑 | 敬老会ﾃﾞｲでお祝い(町敬老会見学) |
| １０月 | １１月 | １２月 | １月 | ２月 | ３月 |
| 外出：コスモス畑 | 福祉まつり焼き芋 | クリスマス会もちつき | 初詣書初め球根植え | 節分ひな飾り見学(真岡:久保講堂) | カフェ |

※誕生会は毎月開催。１～２回　誕生者の人数により開催日調整。

Ⅴ　＜居宅介護支援事業所　ふじやまの里＞

1. 事業方針
	1. ご利用者とご家族が抱えている問題解決に努め、的確な助言や提案、情報提供を行います。
	2. 専門職として、専門的知識及び技術水準を向上させ、資質の向上を図るよう努めます。
	3. プロとしての接遇、挨拶、言葉使い、身だしなみ、立ち振る舞いをします。
	4. 順仁会の一事業所として、法人内の事業所と協力し合い、法人の発展に努めま

す。

Ⅵ　＜在宅介護支援センター＞

１、事業方針

概ね６５歳以上の独居や両老世帯の方が、安心して生活が出来るよう支援致し

ます。

① 　独居や両老世帯、要援護者宅を定期的に訪問し、本人又は家族からの相談に対応し、行政や包括支援センターと連携し、適切な助言や情報を提供します。

②　　認知症地域支援推進員・生活支援コーディネーターとしての業務も遂行します。

より良い業務が遂行できるよう、積極的に研修に参加し日々技能向上に努めます。

③　　他の在宅支援センターと連携して、上三川町介護者の会「たんぽぽ」の支援、その他必要に応じ支援し、情報共有を密に行います。

④　　地域のミニサロン等の立ち上げに、積極的に関わりを持ち、必要な情報を提供致します。

Ⅶ　＜事業所内保育施設　ふじやま園＞

1. 事業方針

５月から認可保育事業の開始に伴い、職員一同、保育事業に対する認識を再確認し、子ども達一人ひとりの気持ちに寄り添い、家庭的な雰囲気を基本とした保育を目指します。

　また、季節の行事や自然とのふれあいを大切にした保育や食育や挨拶などが身に

つけられる保育を行っていき、高齢者とのふれあいを継続します。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 月 | 保育内容 | 月 | 保育内容 |
| ４月 | 内科・歯科検診こいのぼり | １０月 | 内科健診・さつま芋掘りハロウィン |
| ５月 | 総合訓練 | １１月 |  |
| ６月 | ありがとうの日・さつま苗植え | １２月 | クリスマス会・お餅つき |
| ７月 | 七夕祭り・じゃがいも堀り流しそうめん | １月 | 凧遊び |
| ８月 | 夏祭り | ２月 | 豆まき |
| ９月 | 敬老会 | ３月 | ひな祭り・お別れ会 |
| 毎月 | 誕生会・身体測定・避難訓練 |

Ⅷ　＜地域密着型特別養護老人ホーム　ふじやま荘＞

１、事業方針

　住み慣れた上三川町の暮らしを継続していただき安定した日常生活の支援を第一の目標として、自立支援介護や看取り介護の実践を通じて、職員の介護の方向性を統一します。また、ふじやま荘の活動をホームページに掲載し、町内の皆様が気軽に足を運んでいただける取り組みを行いたいと思います。

1. 入居者に地域の風を感じてもらえるような、生活援助を提案していきます。
2. 機能訓練や趣味活動など、入居者への細やかな対応を心がけ、安心・安全な施設生活を送っていただけるよう努めます。

Ⅸ＜認知症対応型デイサービスセンター　ふじやま荘＞

１、事業方針

　 　一日定員12名のアットホームな雰囲気のもと、ご利用者一人ひとりの心に寄り添い、穏やかに過ごす事ができるデイサービスを目指します。

1. 生活リハビリを取り入れながら運動能力の低下防止に努めます。また認知能力にも考慮したリハビリを行う事で効果的な機能訓練を行います。
2. 引きこもりがちな認知症の方に対し、ご利用者同士の交流の機会を提供し、社会的孤立感の低減を図ります。またご家族との連帯を深め、ご利用者とそのご家族が安心してご利用できるよう努めます。
3. 四季に応じたレクリエーションや外出を企画し提供することにより、季節を感じて頂きながら心身や脳の活性化に努めます。
4. 創作活動などの作業レクを行う事で目的を見出し、利用に対する動機付けに繋げていきます。また達成感を感じて頂くことで、日常生活においてのメリハリや意欲向上に努めます。

２、年間行事計画

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 |
| お花見 | バラ園見学 | あじさい見学 | 七夕 | ひまわり畑見学 | 敬老会 |
| １０月 | １１月 | １２月 | １月 | ２月 | ３月 |
| コスモス畑見学サンマ焼き | 福祉まつり見学そば打ち | クリスマス会餅つき | 初詣 | 豆まきひな飾り見学 | ひな祭り |

※月に一度、季節に合わせたおやつ作りを行います。随時、誕生会を行います。